



文部科学大臣杯
第31回全国高等学校対抗
ボウリング選手権大会

2024年12月21・22日

MKボウル上賀茂



- 主催** 公益財団法人JAPAN BOWLING
後援 スポーツ庁
公益財団法人全国高等学校体育連盟
公益財団法人京都府スポーツ協会
協力 日本ボウリング機構（JBO）
公益社団法人日本ボウリング場協会
MKボウル上賀茂
主管 一般社団法人京都府ボウリング連盟

この事業は公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団の助成を受けて実施しています

大会専用ホームページ →





祝 辞

文部科学大臣 あべ 俊子

文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会が、全国から多数の高校生の参加を得て開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会は、「ボウリングの甲子園」とも呼ばれ、ボウリングに情熱を注ぐ高校生の皆さんが一堂に会し、その成果を披露するものとして、競技の普及振興に大きく寄与してきた伝統ある大会と伺っています。

スポーツは、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものです。中でもボウリングは、年代を問わず誰もが気軽に楽しめるスポーツとして広く国民に親しまれており、高校生の皆さんが、学業との両立を図りながら、真摯にボウリングに取り組まれていることは、心身ともに充実した豊かなスポーツライフを送る上で大変有意義なものです。

本大会に出場される皆さん、これまで支えてくれた保護者や指導者、仲間への感謝の気持ちを忘れず、日々の練習の成果を十分に発揮するとともに、全国から集まったボウリングを愛する仲間たちとの親睦を大いに深めてください。本大会での貴重な経験が、皆さんの今後の人生における大きな財産となることを期待しています。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益財団法人 JAPAN BOWLING をはじめ、多くの関係の皆様にご敬意を表するとともに、本大会の成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。



ご 挨 拶

第 31 回全国高等学校対抗選手権大会 会長
公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長

丹 羽 秀 樹

文部科学大臣杯第 31 回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。「ボウリングの甲子園」を掲げる本大会を、2024 年の掉尾を飾る大会として盛大に開催できますことは、主催者としてこの上ない喜びであります。

高等学校の部活動が、生徒たちの個性を反映し多様化する中で、ボウリング部活動は全国的な普及に着手して 30 年を経過しました。この間、本大会や国体・国スポなどを目標としながら、日々真摯に研鑽する高校生の輪が大きく広がりました。そして日本の高校生ボウラーの競技力は、常に世界でトップを争えるまで向上しました。

これも、常に高校生たちを温かく見守り支えてくださるご家族、先生方、指導者、地域の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。周囲の皆様の力を得て、学校生活や競技活動において仲間と励まし合い、工夫と努力を重ねている高校生ボウラーたちにとって、本大会で学校の名を背負い仲間とともに挑む経験は、今後もボウリングに邁進する糧となり、さらなる活躍への礎となることでしょう。選手の皆さんが、練習の成果を十分に発揮されるよう祈念いたします。

終わりになりましたが、本大会の開催にご理解ご尽力賜ります京都府、京都市の皆様と、会場の MK ボウル上賀茂様、主管の一般社団法人京都府ボウリング連盟と、ご後援ご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会



ご 挨 拶

一般社団法人 京都府ボウリング連盟 会長

田 坂 幾 太

文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会がここ京都府京都市において開催されるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

「ボウリングの甲子園」とされる本選手権大会が、全国各地から多くの選手・役員の皆様方をお迎えし、盛大に開催されます事は主管連盟として大きな喜びであり、皆様方を大いに歓迎申し上げる次第でございます。

参加選手の皆様は所属の高等学校の栄誉を目指し精一杯頑張ってくださいとともに、選手同士の親交も深めて頂きますようお願いいたします。

京都は世界遺産に登録された寺院をはじめ、歴史・文化に触れられる世界有数の観光名所でもあります。競技は競技として真剣にお取り組み頂き、折角の機会ですので京都の名所・旧跡をご散策賜れば幸いに存じます。

結びに当たり、会場をご提供頂きましたMKボウル上賀茂様をはじめ今大会開催に向けご支援ご協力賜りました関係各位に、心から御礼と感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

開催要項

- 競技種目 : 男子の部 各学校対抗 2人チーム 女子の部 各学校対抗 2人チーム戦
- 競技方式 : デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。
- 競技方法 : 予選 男子・女子とも1人9ゲームの競技を行い(1ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点(チーム18ゲーム)の上位8チームが決勝トーナメントに進出する。
決勝 男子・女子とも上位8チームにより、1ゲームマッチのトーナメントを行い、その成績により優勝校並びに順位を決定する。
- 競技規程 : (公財) JAPAN BOWLING 制定のボウリング競技規則並びに選手権競技会規程による。
- 同位の裁定 : 予選において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
決勝において対戦チーム同士が同点の場合は各チーム1名の競技者による9・10フレームの決定戦により順位を決定する。敗退したチームが同点の場合、予選順位の上位チームを上位とする。
- 参加資格 : 2024年度公益財団法人 JAPAN BOWLING 高等学校登録会員、またはジュニア会員の高等学校在学者に限る。ただし、満18歳未満(2024年4月1日現在)とする。
- チーム編成 : 男子・女子とも、各学校単位でチームを編成(2名)すること。
補欠選手登録は1チーム1名とする。
- 褒賞 : 男子校・女子校とも 優勝～第8位まで
※男子・女子優勝校には文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する
個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞(男子・女子別 予選9ゲームを対象とする)
- 特典 : 第31回大会男子・女子優勝校は、第32回大会のシード校とする

<注意事項>

- ① 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- ② 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証(原本または写し)を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
- ③ 参加申込にあたっては、申込書に学校長承認印を捺印のこと。
- ④ 原則として各都道府県にて予選会を行い、参加チームを選出すること。
- ⑤ 今大会、各都道府県連盟旗は不要。
- ⑥ 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- ⑦ 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から(特別会員は4個目から)1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する(公認ゲーム600ゲーム以上達成者は、7個目まで特別保管料を免除し、8個目から1個につき1,000円を追加徴収する)また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- ⑧ 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- ⑨ 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- ⑩ 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
- ⑪ 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- ⑫ 会場にボールバック等を送る場合は12月19日(木)午後以降の到着で送ること。
- ⑬ 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報(氏名・年齢・性別・記録・肖像等)は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用権は主催者に属する。
- ⑭ 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報(肖像を含む)およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。



文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

大会役員名簿

大会会長	丹羽 秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	会長
大会副会長	西林 康憲	(公財) JAPAN BOWLING	副会長
〃	田坂 幾太	(一社)京都府ボウリング連盟	会長
大会委員長	齋藤 良太郎	(公財) JAPAN BOWLING	専務理事・事務局長
大会副委員長	松下 秀雄	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
大会総務委員長	柳川 弘行	(公財) JAPAN BOWLING	総務委員長
大会副委員長	柳川 弘行	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
大会総務委員長	柳川 弘行	(公財) JAPAN BOWLING	競技委員長
大会副委員長	川崎 治夫	(公財) JAPAN BOWLING	理事
大会広報委員長	川崎 治夫	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
大会副委員長	奥 享子	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
〃	芦田 利行	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
大会審判委員長	伊藤 一明	(公財) JAPAN BOWLING	競技副委員長
大会認証委員長	四宮 和裕	(公財) JAPAN BOWLING	指導委員長
大会資格審査委員	高橋 尚代	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	上田 暢子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	野口 由美	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	根田 光朗	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	森 永耕造	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	小林 穰	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	川上 秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	飯島 祥行	(公財) JAPAN BOWLING	理事
〃	山下 知且	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	亀島 愛永	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	村松 加王里	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	笹川 麻利恵	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	中塩 博美	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	石嶺 可奈子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	吉田 由美子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	川口 美永	(公財) JAPAN BOWLING	理事
	由中 信安	(公財) JAPAN BOWLING	理事
大会事務局	川杉 裕志	(公財) JAPAN BOWLING	事務局
〃	田中 雄也	(公財) JAPAN BOWLING	事務局



競 技 役 員

大会競技役員長	奥 享子	(一社) 京都府ボウリング連盟	副会長
大会競技副役員長	芦田 利行	(一社) 京都府ボウリング連盟	副会長
大会総務部長	岡部 俊樹	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会競技部長	森下 潤	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会審判部長	内藤 茂	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会認証部長	石野 裕也	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会記録部長	横田 正一	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会広報部長	秋元 充秀	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会褒賞部長	松本八重子	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会褒賞部長	大野 和幸	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会運営委員	中島 美紀	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会褒賞部長	新井 龍将	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会運営委員	平田 直也	(一社) 京都府ボウリング連盟	理 事
大会事務局	大司 秀樹	(一社) 京都府ボウリング連盟	事務局

大会審判員【第1種】	播本 雄輔 ・ 大司 秀樹 ・ 森下 潤 奥 享子 ・ 岡部 俊樹 ・ 横田 正一
【第2種】	阿部 裕 ・ 秋元 充秀
【第3種】	野呂 貞之 ・ 中島 美紀 ・ 山田 潤 芦田 利行 ・ 松本八重子 ・ 成田真由美 大野真里奈
大会ボール検査員	奥 享子 ・ 成田真由美 ・ 大野真里奈 芦田 利行 ・ 山田 潤



文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

競技日程

月 日	時 間	内 容
(第1日目) 12月21日(土)	8:15~ 9:00	男子A組・女子ボール登録・受付
	8:30~ 9:00	監督・引率者会議
	9:30~ 9:45	開 会 式
	10:00~11:40	男子A組・女子1回戦
	10:15~11:00	男子B組ボール登録・受付
	11:50~13:30	男子B組1回戦
	13:40~15:20	男子A組・女子2回戦
	15:30~17:10	男子B組2回戦
	17:20~19:00	男子A組・女子3回戦
(第2日目) 12月22日(日)	8:15~ 8:30	男子B組受付
	9:00~10:40	男子B組3回戦
	11:00~11:15	決勝出場校発表・受付
	11:45~12:15	決勝トーナメント1回戦
	12:30~13:00	決勝トーナメント2回戦
	13:15~13:45	決勝トーナメント決勝
	14:10~14:40	表彰式・閉会式

※競技の進行状況により開始時間が前後する場合があります。



競技規則 (抜粋)

第133条 (同位ピンの裁定)

競技の勝位の決定について、個人又はチーム戦の得点が同点の場合、次のとおり裁定する。

- (1) シリーズにおいて同点の場合は、最高ゲームと最低ゲームの差の最も少ないものを上位とする。
- (2) 2シリーズ以上の競技において同点の場合、最高シリーズと最低シリーズの差の最も少ないものを上位とする。
- (3) 1ゲームのスコアが同点の場合及び第1号の得点差が同じ場合は、個人又はチーム戦で第10フレームまでを含めたストライク数の多いものを上位とする。
- (4) さらにストライク数が同じ場合は、スペア数の多いものを上位とする。
- (5) スペア数が同じ場合は、ともに勝者とするか、又はさらに1ゲームの決勝戦を行い、勝者を決定する。ただし、競技要項にほかの方法で規定している場合は、その規定による。

第134条 (スローボウリングの禁止)

すべての競技は遅滞なく実施し、審判員は遅滞の原因が競技者にある次のような場合には、スローボウリングと判定する。

スローボウリングの判定は、同一シリーズ内においてのみ適用し、最初は「警告」、2回目は「嚴重注意」、3回目以降は、そのフレームの得点を0とする。

- (1) 競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンが空いている場合、直ちに投球態勢をとらなければならない。
- (2) 競技投球者は、投球の準備態勢に入ろうとしているすぐ右側レーンの競技者に対してのみ優先投球権を認めなければならない。
- (3) 競技者が1レーンに1名又は2名で競技する場合は、当該シフトで進行の早い競技者から、原則として4フレーム以上の遅れ、3名以上で競技する場合は、2フレーム以上の遅れがあった場合は、機械の故障等の有無を確認の後、判定する。
- (4) 競技者は、前の競技者のボールがボールラックに戻ったときから30秒以内にその競技者は投球しなければならない。その判定は、審判員が競技者を無作為に選考し、ストップウォッチにより、その競技者の投球時間を測定する。
- (5) 第4号の条文については、当分の間、指導事項とする。

第136条 (ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

ボウリングボールの表面調整及び表面加工については、国際ボウリング連盟の規定に基づき、次のとおりとする。

ゲーム中にボールの表面を調整及び加工した場合は、そのゲームの得点は0とする。

- (1) ボウリングボールの調整に使用できるポリッシュ並びにクリーナーは、国際ボウリング連盟の公式認定の物とし、ボウリングボールの表面調整は、競技が遅滞しない範囲でゲームとゲーム間で許されるが、必ず手で実施し、ボウラーズエリア内では行うことはできない。
- (2) ボウリングボールの表面加工をすることは、第1号で規定されたものを除き、指定された場所において、公式練習中、競技直前の練習時間中及びシフトとシフトの間は許される。
- (3) ボールの表面を調整及び加工した場合は、その表面に付着物があってはならない。

第406条 (遅刻)

競技者は、競技開始予定時間の30分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

第407条 (ボウラーズエリア)

選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。

- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることはできるのは監督又はコーチのいずれか1名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
- 3 ボウラーズエリアに入ることはできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

第410条 (使用ボール)

選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。

- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて国際ボウリング連盟公式認定ボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
- (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
- (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第136条を適用する。
- (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
- (5) 1991年1月1日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
- (6) 上記のほか、競技規程第135条を適用する。

第418条 (競技者の服装)

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第137条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

第419条 (競技中の飲食、喫煙)

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラーズエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。

また、競技者はボウラーズエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてこの法人の競技規則を適用する。

【注 意 事 項】

※ 競技会及び選手権大会の競技中2個以上のボールを使用する場合は、次のことを厳守して下さい。

- (イ) 競技中、特別の指示がある場合を除きボールラックには1人1個のボールしか置くことはできない。
- (ロ) 競技会および選手権大会では、競技開始前に主管認証部へ会場に持ち込んだ全てのボールを登録しなければならない。その際の登録料は、2個目から1個につき500円の登録料を納めなければならない。また、5個以上を登録する場合は、別途の料金が必要となる。
- (ハ) 競技中にボール交換のために、他の競技者に迷惑をかけたか、競技進行に支障を生じさせた場合は、スローボウリング(競技規程第134条)の適用を受ける場合がある。

※ 大会には、ボールの持込を1人4個以内に自粛するよう指導事項となっております。ご協力をお願いいたします。

※ 大会会場に4個以上持ち込んだ場合でも、競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。

ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。

※ ハイゲーム、ハイシリーズ賞とも同点の場合は、該当者全員を表彰します。(選手権競技会規程第414条)



参加校一覧①

No.	都道府県名	学 校 名	チ-ム数		監 督 代表引率者	引 率 者
			男子	女子		
1	北海道	立命館慶祥高等学校	1		深見 義明	橋本 和美
		北海道札幌東商業高等学校		1		深見 義明
2	青 森	八戸工業大学第一高等学校	1		山本 大輔	工藤 壽紀
		青森県立青森工業高等学校	1			山田 寿文
		青森県立弘前工業高等学校	1			齋藤 善文
		東奥学園高等学校	2	1		山本 大輔
		青森県立弘前高等学校	1			長内 秀文
		弘前学院聖愛高等学校		1		今野 裕一
		千葉学園高等学校		1		西山 響
3	岩 手	盛岡市立高等学校	1		小野寺亮太	小野寺亮太
4	宮 城	仙台城南高等学校	1		茂林 直樹	—
5	秋 田	秋田市立御所野学院高等学校	1		布目 浩嗣	布目 浩嗣
6	山 形	学校法人山形電波学園 創学館高等学校	1		寺尾 悟	寺尾 悟
7	茨 城	茨城県立取手第一高等学校	1		宮本 俊子	宮本 俊子
8	群 馬	高崎健康福祉大学高崎高等学校	1		齋藤 裕也	—
9	埼 玉	埼玉県立狭山工業高等学校	1		丸山 晴行	—
10	東 京	本郷高等学校	1		佐藤 一雄	秋保 義規
		青稜高等学校	1			林 和男
		堀越高等学校	1			宮館 聡一
		日本体育大学荏原高等学校	2			中田 昌博
		東京都立八王子拓真高等学校	1			—
11	神奈川	新名学園 旭丘高等学校	1	1	中尾 了	中坊 恵太
		神奈川県立横浜南陵高等学校	2	1		菊地 慎
		神奈川県立釜利谷高等学校	1			横田 未毅
		神奈川県立横須賀工業高等学校	1			平木 明史
		神奈川県立平塚工科高等学校	1			酒井舞美子
		クラーク記念国際高等学校	1			大森 隆司
		神奈川県立住吉高等学校	1			倉原 幸弘
		神奈川県立大和東高等学校		1		山田 悠貴
12	富 山	学校法人 不二越工業高等学校	1		士反 治久	吉野 浩司
13	石 川	石川県立金沢伏見高等学校	1		今川 徹	今川 徹
		金沢龍谷高等学校	1	1		杉本 雄一
		石川県立小松工業高等学校	1			川崎 裕貴
14	静 岡	静岡聖光学院高等学校	1		横地 敦子	横地 敦子
		東海大学附属静岡翔洋高等学校	1			諏訪間裕視



文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

参加校一覧②

No.	都道府県名	学 校 名	チ-ム数		監 督 代表引率者	引 率 者
			男子	女子		
15	愛 知	愛知工業大学名電高等学校	2		皆越 英次	太田 博隆
		愛知県立津島高等学校	1			中村奈津子
		名工学園名古屋工業高等学校	2			渡邊孝一郎
		愛知県立一宮西高等学校	1			林 剛志
		愛知県立木曾川高等学校		1		山之内容子
		名古屋大谷高等学校		1		皆越 英次
		愛知みずほ大学瑞穂高等学校		1		前野 喜子
16	三 重	三重県立桑名高等学校	2		北村 英樹	伊藤 広樹
		学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿高等学校	1			北村 英樹
		学校法人三重高等学校	1			鈴木 志英
17	岐 阜	岐阜聖徳学園高等学校	1	1	樋口 晃	樋口 晃
		岐阜県立羽島高等学校	1			大橋 紀子
18	滋 賀	彦根総合高等学校	1		島本 昭宏	島本 昭宏
19	京 都	洛陽総合高等学校	2		秋元 充秀	秋元 充秀
20	鳥 取	鳥取県立米子工業高等学校	1		浦川由加里	浦川由加里
21	岡 山	岡山理科大学附属高等学校	1		木村 佳苗	木村 佳苗
		岡山県立倉敷工業高等学校	1			鷺森 拓未
		岡山市立岡山後楽館高等学校		1		—
22	愛 媛	愛媛県立松山工業高等学校	1		市川 芳昭	—
23	高 知	高知県立岡豊高等学校	1		野村 佳弘	野村 佳弘
		高知県立高知工業高等学校	1			野村 佳弘
24	福 岡	福岡第一高等学校	1		菅原 直樹	菅原 直樹
25	大 分	大分高等学校	1	1	石井 浩之	石井 浩之
26	沖 縄	沖縄県立沖縄工業高等学校	1		小山 正樹	島袋 宏大
		沖縄県立中部商業高等学校	1	1		知名 亮
		沖縄県立首里東高等学校	1			東恩納義治
		沖縄県立具志川高等学校	1			小山 沢子
		沖縄県立真和志高等学校		1		小山 沢子
		参加チ-ム数	61	16		

前年度 男子優勝校 沖縄県 沖縄県立首里東高等学校
 女子優勝校 神奈川県 神奈川県立綾瀬西高等学校 (今回不参加)



文部科学大臣杯 第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

選手名 および レーン配当表 (男子)

NO.	投球 シフト	都道府 県 名	学校 名	選 手 氏 名			レ ー ン								
				第1投球者	第2投球者	補 欠	1回戦			2回戦			3回戦		
							1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
1	A	北海道	立命館慶祥高	② 橋本 旺典	② 加藤 世那	② 福嶋 大翔	29	31	33	18	10	12	37	39	41
2	B	青 森	八戸工大一	② 田中 悠太郎	③ 山館 琉雅		14	16	18	35	37	39	32	22	24
3	B	青 森	青森工業高校	③ 里村 吏絆	② 小川 結生	② 中村 蓮也	43	45	35	26	28	30	17	19	9
4	A	青 森	弘前工業	① 佐藤 愛羅	② 冨澤 蒼空	① 菊池 康介	45	35	37	24	26	28	15	17	19
5	A	青 森	東奥学園A	③ 佐藤 快音	③ 中川 健太		31	33	25	10	12	14	39	41	43
6	B	青 森	東奥学園B	③ 鹿内 楓	③ 横岡 悠斗		27	29	31	18	20	22	43	45	33
7	B	青 森	弘前高校	② 堀 悠人	② 林 大晴	② 平山 昊	35	37	39	30	32	34	13	15	17
8	A	岩 手	盛岡市立高校	③ 合津 和斗	② 八重樫龍之介		28	30	32	17	9	11	40	42	44
9	B	宮 城	仙台城南	③ 茂林 健太	③ 松本 拓也		16	18	20	37	39	41	26	28	30
10		秋 田	御所野学院	② 鎌田 孔太郎	② 泉谷 和										
11	B	山 形	創学館	② 保科 優斗	① 大門 弘夢	② 石澤 奏人	32	34	22	11	13	15	36	38	40
12	A	茨 城	取手第一高校	③ 柳田 祐路	③ 宮本 拓実		35	37	39	26	28	30	17	19	9
13	A	群 馬	高崎高校	③ 齋藤 亮太	① 齋藤 直人		41	43	45	20	22	24	10	12	14
14	B	埼 玉	狭山工業	③ 豊泉 拓登	③ 丸山 瑛豊		44	46	36	27	29	31	14	16	18
15	B	東 京	本郷高校	② 木村 克也	② 中山 文博		33	21	23	12	14	16	41	43	45
16	B	東 京	青稜	① 畑中 真啓	① 古田 遥人		15	17	19	36	38	40	27	29	31
17	A	東 京	堀越高等学校	③ 武市 佳也	② 三村 優		38	40	42	29	19	21	14	16	18
18	B	東 京	日体大荏原A	② 山下 鈴響	③ 植木 詠章	② 實川 優真	24	26	28	9	11	13	44	46	34
19	B	東 京	日体大荏原B	② 鋸持 絢心	② 金城 裕和	② 松永 明士	42	44	46	25	27	29	12	14	16
20	A	東 京	八王子拓真	③ 佐藤 耀斗	② 熊沢 絆		25	27	29	14	16	18	45	37	39
21	A	神奈川	旭丘高校	③ 川合 亜門	③ 下川 陽生	③ 井上 天太	46	36	38	25	27	29	20	10	12
22	B	神奈川	横浜南陵A	① 小野寺 龍清	② 古矢 一樹	③ 小川 遥斗	46	36	38	29	31	33	18	20	10
23	A	神奈川	横浜南陵B	③ 小嶋 日向	③ 井町 唯斗	③ 菊地 剣心	27	29	31	16	18	10	41	43	45
24	B	神奈川	釜利谷高校	③ 石川 勇翔	① 小泉 師英	① 那須 ゆうき	26	28	30	17	19	21	46	34	36
25	B	神奈川	県横須賀工業	② 渡辺 一輝	② 川口 隼稀		11	13	15	44	46	36	25	27	29
26	B	神奈川	平塚工科	③ 酒井 一希	② 酒井 光太		37	39	41	32	34	24	9	11	13
27	B	神奈川	クラーク国際	② 斉藤 優真	② 大森 千空		34	22	24	13	15	17	40	42	44
28	A	神奈川	住吉	② 倉原 幸平	① 彦田 晃嗣		40	42	44	19	21	23	13	15	17
29	A	富 山	不二越工高	③ 倉谷 颯	① 近藤 勇斗	① 上野 颯馬	42	44	46	21	23	25	16	18	20
30	B	石 川	金沢伏見	② 鈴木 雅智	② 山口 二源	② 田邊 悠貴	41	43	45	24	26	28	15	17	19
31	A	石 川	金沢龍谷	① 中村 信輝	① 石川 心稀		34	26	28	13	15	17	42	44	46
32	B	石 川	小松工業	③ 谷 圭太郎	② 藤部 飛龍	② 中谷 清太	9	11	13	42	44	46	23	25	27
33	B	静 岡	静岡聖光	① 横地 優輝	② 西川 和徳		25	27	29	22	10	12	35	37	39
34	B	静 岡	静岡翔洋	① 小林 勇太	③ 諏訪間 皆丞		36	38	40	31	33	23	20	10	12
35	B	愛 知	愛工大名電A	② 岡田 有翔	① 橋本 篤輝	③ 亀井 奏良	38	40	42	33	23	25	16	18	20
36	B	愛 知	愛工大名電B	① 清水 武	① 駒木 亮太		21	23	25	14	16	18	45	33	35
37	A	愛 知	津島高校	① 中村 唯人	① 塚本 悠太		43	45	35	22	24	26	19	9	11
38	B	愛 知	名古屋工業A	② 都築 啓	③ 石川 慧		19	9	11	40	42	44	29	31	21
39	B	愛 知	名古屋工業B	③ 小松 零雄	③ 伏見 英翔		30	32	34	21	9	11	42	44	46
40	A	愛 知	一宮西高校	② 柴田 涼	② 藤原 功聖		30	32	34	9	11	13	46	38	40



文部科学大臣杯 第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

選手名 および レーン配当表 (男子)

NO.	投球シフト	都道府県名	学校名	選手氏名			レーン								
				第1投球者	第2投球者	補欠	1回戦			2回戦			3回戦		
							1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
41	B	三重	桑名高校A	② 尾崎 将史	② 小林 優真	① 伊藤 渉	31	33	21	10	12	14	39	41	43
42	B	三重	桑名高校B	① 島田 侍音	① 瀬古 将成	① 山口 滉介	10	12	14	43	45	35	30	32	22
43	A	三重	鈴鹿高校	③ 大北 隼	① 田中 皓也		39	41	43	30	20	22	11	13	15
44	B	三重	三重高校	② 菊地 拓斗	② 谷村 風翔	② 佐々木 亮輔	45	35	37	28	30	32	11	13	15
45	A	岐阜	岐阜聖徳学園	② 松長 大輝	② 立木 琉誠		37	39	41	28	30	20	9	11	13
46	B	岐阜	県立羽島	② 大橋 一輝	② 土屋 太希		20	10	12	41	43	45	22	24	26
47	B	滋賀	彦根総合高校	② 山本 大貴	② 中川 漣		23	25	27	16	18	20	33	35	37
48	B	京都	洛陽総合高校A	① 山口 直矢	① 立花 仁貴	③ 宮崎 雄介	13	15	17	46	36	38	21	23	25
49	B	京都	洛陽総合高校B	① 新井 希空	① 落合 唯斗	② 田端 奏和	29	31	33	20	22	10	37	39	41
50	A	鳥取	米子工業高校	① 高口 翔馬	① 新開 源之郎		32	34	26	11	13	15	38	40	42
51	B	岡山	理大附属	② 木村 優	① 前田 康誠		28	30	32	19	21	9	34	36	38
52	B	岡山	倉敷工業	③ 石川 留偉	③ 山川 大登		18	20	10	39	41	43	24	26	28
53	A	愛媛	松山工業	① 一色 怜夢	③ 伊賀上 想來		44	46	36	23	25	27	18	20	10
54	B	高知	岡豊高校	① 三宮 望叶	① 野村 颯良		39	41	43	34	24	26	19	9	11
55	B	高知	高知工業	① 川村 煌之介	① 宮田 知宗		12	14	16	45	35	37	28	30	32
56	A	福岡	福岡第一	③ 嶋 風鷲	② 太田 純也	③ 齊田 昌磨	26	28	30	15	17	9	44	46	38
57	A	大分	大分高校	③ 姫野 陽翔	② 巽 光一	② 岡本 弦大	36	38	40	27	29	19	12	14	16
58	A	沖縄	沖縄工業	③ 西銘 海湮	③ 瀬名波 杏琉	① 仲宗根 純亜	33	25	27	12	14	16	43	45	37
59	B	沖縄	中部商業高校	③ 我那覇 怜	③ 與那嶺 胤羽	③ 伊藤 月	40	42	44	23	25	27	10	12	14
60	B	沖縄	沖縄首里東	② 下地 良尚	③ 宮城 快仁	① 久手堅 憲莉	22	24	26	15	17	19	38	40	42
61	B	沖縄	具志川高校	② 小山 嵐士	② 豊里 友汰	② 上原 律紀	17	19	9	38	40	42	31	21	23

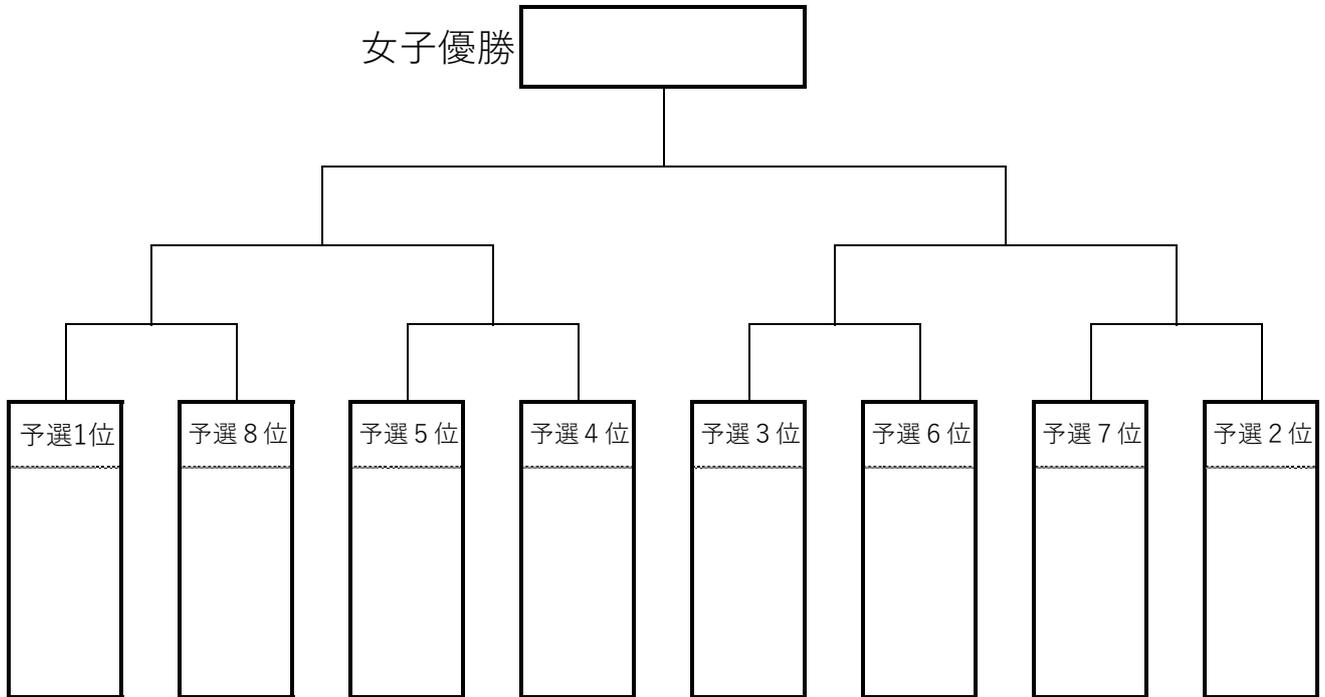
選手名 および レーン配当表 (女子)

No.	都道府県名	学校名	選手氏名			レーン								
			第1投球者	第2投球者	補欠	1回戦			2回戦			3回戦		
						1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
1	北海道	札幌東商業	③ 佐藤 美葉	① 畑中 凜華	③ 神田 涼夏	20	22	24	45	39	41	36	30	32
2	青森	東奥学園	③ 篠崎 萌衣	② 野呂 鈴音		17	19	21	42	44	46	35	29	31
3	青森	聖愛	① 宇野 愛生	③ 松山 蓮音		13	15	9	38	32	34	23	25	27
4	青森	千葉学園	① 小川 結歌	① 鈴木 心愛	① 奥寺 心美	22	24	18	39	41	43	30	32	34
5	神奈川	旭丘高校	③ 長久保 菜稀	② 柴田 早彩		10	12	14	35	37	31	24	26	28
6	神奈川	横浜南陵	③ 松田 日茉莉	③ 小針 さくら		16	10	12	33	35	37	22	24	26
7	神奈川	県立大和東高	② 網代 羅夢	③ 高田 真帆	② 濱崎 姫琉	21	23	17	46	40	42	31	33	35
8	石川	金沢龍谷	② 吉田 知花	① 瀬尾 彩芽	② 田圃 きらら	11	13	15	36	38	32	21	23	25
9	愛知	木曾川高校	① 豊田 こころ	③ 山之内 詩		12	14	16	37	31	33	26	28	22
10	愛知	瑞穂高校	① 前野 夢來	② 住田 結萌		23	17	19	40	42	44	33	35	29
11	愛知	名古屋大谷	② 水谷 柚茜	① 水谷 梨琴		18	20	22	43	45	39	34	36	30
12	岐阜	岐阜聖徳学園	③ 上野山 由利奈	③ 淀川 理桜		9	11	13	34	36	38	27	21	23
13	岡山	岡山後楽館	① 塩尻 聡美	① 井上 愛子		24	18	20	41	43	45	32	34	36
14	大分	大分高校	② 上野 凜	② 後藤 静		14	16	10	31	33	35	28	22	24
15	沖縄	中部商業高校	① 荻堂 栞鈴	② 稲福 観夕	① 川満 瑠菜	19	21	23	44	46	40	29	31	33
16	沖縄	真和志高校	① 運天 瑞稀	③ 又吉 純菜		15	9	11	32	34	36	25	27	21

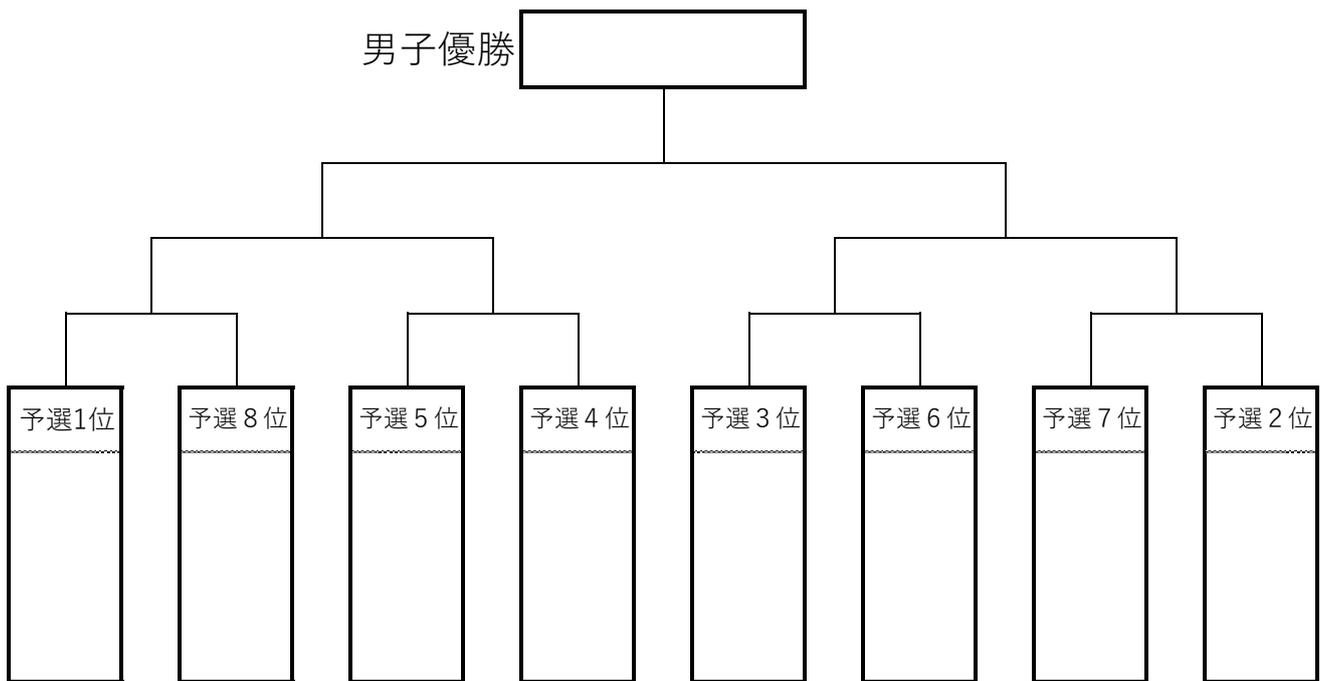
選手氏名の前の○内の数字は学年を示す。



女子決勝トーナメント



男子決勝トーナメント





文部科学大臣杯 第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 栄光の記録

【第1回大会】 1994年12月22日～23日

参加：男子 46校 女子 30校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	南 京 都 高 等 学 校 (京 都) 森 本 小 橋	徳 島 市 立 高 等 学 校 (徳 島) 広 瀬 戸 川

【第2回大会】 1995年12月22日～23日

参加：男子 51校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	南 京 都 高 等 学 校 (京 都) 小 橋 森 本	静 岡 県 立 静 岡 城 北 高 等 学 校 (静 岡) 片 井 森

【第3回大会】 1996年12月22日～23日

参加：男子 57校 女子 19校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	北 海 道 石 狩 高 等 学 校 (北 海 道) 小 川 川 村	東 海 大 学 山 形 高 等 学 校 (山 形) 斉 藤 滋 谷

【第4回大会】 1997年12月22日～23日

参加：男子 66校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	福 岡 第 一 高 等 学 校 (福 岡) 小 松 花 田 二 宮	石 川 県 立 金 沢 伏 見 高 等 学 校 (石 川) 徳 田 永 井 新 井

【第5回大会】 1998年12月22日～23日

参加：男子 65校 女子 21校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	東 京 学 園 高 等 学 校 (東 京) 松 坂 天 野 可 児	神 奈 川 県 立 釜 利 谷 高 等 学 校 (神 奈 川) 佐 藤 高 坂 吉 川

【第6回大会】 1999年12月22日～23日

参加：男子 69校 女子 29校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	福 岡 第 一 高 等 学 校 (福 岡) 二 宮 政 時 中 野	日 本 女 子 大 学 附 属 高 等 学 校 (神 奈 川) 一 戸 福 田

【第7回大会】 2000年12月22日～23日

参加：男子 63校 女子 28校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	大 阪 市 立 泉 尾 工 業 高 等 学 校 (大 阪) 北 本 松 尾	古 川 学 園 古 川 商 業 高 等 学 校 (宮 城) 河 原 河 原

【第8回大会】 2001年12月22日～23日

参加：男子 66校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	神 奈 川 県 立 釜 利 谷 高 等 学 校 (神 奈 川) 井 上 善 波 本 杉	大 阪 市 立 泉 尾 工 業 高 等 学 校 (大 阪) 原 田 西 村 井 上

【第9回大会】 2002年12月22日～23日

参加：男子 68校 女子 23校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	八 商 学 園 秀 岳 館 高 等 学 校 (熊 本) 上 村 日 置 田 中	福 岡 第 一 高 等 学 校 (福 岡) 松 永 本 村

【第10回大会】 2003年12月22日～23日

参加：男子 70校 女子 25校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	男子	女子
優勝	福 岡 第 一 高 等 学 校 (福 岡) 佐 藤 大 串 巽	岡 山 理 科 大 学 附 属 高 等 学 校 (岡 山) 長 谷 川 武 井

【第11回大会】 2004年12月22日～23日

参加：男子 64校 女子 20校

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボウリングセンター

	男子	女子
優勝	新 名 学 園 旭 丘 高 等 学 校 (神 奈 川) 渡 邊 小 林	沖 縄 県 立 北 谷 高 等 学 校 (沖 縄) 宮 城 伊 保

【第12回大会】 2005年12月23日～25日

参加：男子 64校 女子 26校

会場：神奈川・川崎Aボウル

	男子	女子
優勝	金 沢 市 立 工 業 高 等 学 校 (石 川) 宇 田 西 嶋 大 西	沖 縄 県 立 北 谷 高 等 学 校 (沖 縄) 宮 城 伊 保 伊 保

【第13回大会】 2006年12月23日～25日

参加：男子 64校 女子 26校

会場：神奈川・川崎Aボウル

	男子	女子
優勝	愛 知 工 業 大 学 名 電 高 等 学 校 (愛 知) 今 野 前 田	高 崎 健 康 福 祉 大 学 高 崎 高 等 学 校 (群 馬) 鈴 木 小 田 切

【第14回大会】 2007年12月22日～24日

参加：男子 56校 女子 20校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	山 本 学 園 高 等 学 校 (山 形) 越 後 越 後	神 奈 川 県 立 横 浜 南 陵 高 等 学 校 (神 奈 川) 佐 藤 奥 松 岡

【第15回大会】 2008年12月19日～21日

参加：男子 61校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	福 岡 第 一 高 等 学 校 (福 岡) 安 里 升 水 宮 城	青 森 県 立 青 森 工 業 高 等 学 校 (青 森) 坂 井 根 深



文部科学大臣杯 第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 栄光の記録

【第16回大会】 2009年12月18日～20日

参加：男子 68校 女子 30校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	大阪府立藤井寺工科高等学校(大阪)	濱中 高田 重見	堀越高等学校(東京)	箕輪 大嶋	

【第17回大会】 2010年12月17日～19日

参加：男子 69校 女子 32校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	京都府立東稜高等学校(京都)	開原 西川	豊川高等学校(愛知)	諸頭 渡辺	

【第18回大会】 2011年12月16日～18日

参加：男子 64校 女子 32校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	青森山田高等学校埼玉校(埼玉)	今北 大村 伊藤	堀越高等学校(東京)	箕輪 大嶋	

【第19回大会】 2012年12月21日～23日

参加：男子 62校 女子 26校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	八戸工業大学第一高等学校A(青森)	工藤 工藤	津田学園高等学校(三重)	坂倉 中村	

【第20回大会】 2013年12月20日～22日

参加：男子 72校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	金沢市立工業高等学校A(石川)	松田 田中 広瀬	福島東稜高等学校(福島)	大河内 齋藤	

【第21回大会】 2014年12月19日～21日

参加：男子 72校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	埼玉県立大宮工業高等学校B(埼玉)	石川 飯島	愛媛県立今治西高等学校(愛媛)	御手洗 御手洗	

【第22回大会】 2015年12月18日～20日

参加：男子 64校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	神奈川県立横須賀工業高等学校A(神奈川)	吉川 土方 長瀬	堀越高等学校(東京)	照山 八木 越山	

【第23回大会】 2016年12月23日～25日

参加：男子 63校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	堀越高等学校(東京)	鈴木 古畑	神奈川県立横浜南陵高等学校(神奈川)	岩川 内田 横山	

【第24回大会】 2017年12月22日～24日

参加：男子 60校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	国士舘高等学校(東京)	関口 天川	和歌山県立和歌山北高等学校(和歌山)	伊勢川 山本	

【第25回大会】 2018年12月21日～23日

参加：男子 59校 女子 23校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	神奈川県立横須賀工業高等学校(神奈川)	中尾 石川	福岡第一高等学校(福岡)	幸木 原野	

【第26回大会】 2019年12月20日～22日

参加：男子 59校 女子 19校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子			女子		
優勝	岐阜聖徳学園高等学校(岐阜)	世古 石川	静岡県立富岳館高等学校(静岡)	米山 鈴木	

【第27回大会】 2020年12月18日～20日

参加：男子 44校 女子 14校

会場：三重・津グランドボウル

男子			女子		
優勝	桐丘学園桐生第一高等学校(群馬)	砂長 砂長	福岡第一高等学校(福岡)	溝田 幸木	

【第28回大会】 2021年12月24日～26日

参加：男子 47校 女子 20校

会場：三重・津グランドボウル

男子			女子		
優勝	沖縄県立中部商業高等学校(沖縄)	光崎 宜保	神奈川県立綾瀬西高等学校(神奈川)	崎山 濱崎	

【第29回大会】 2022年12月23日～25日

参加：男子 43校 女子 21校

会場：三重・津グランドボウル

男子			女子		
優勝	名工学園名古屋工業高等学校A(愛知)	宮丸 及川 小柳	前橋市立前橋高等学校(群馬)	大野 渡辺	



前回大会成績

文部科学大臣杯第30回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

成績表

2023年12月23日(土)～24日(日)

参加：男子55校・女子19校

会場：三重・津グランドボウル

《男子の部》			
優勝	沖縄県立首里東高等学校 (沖縄県)		
	宮城 快仁 (2年)	座波 政斗 (3年)	下地 良尚 (1年)
準優勝	茨城県立取手第一高等学校 (茨城県)		
	柳田 祐路 (2年)	宮本 拓実 (2年)	
第3位	沖縄県立中部商業高等学校 (沖縄県)		
	銘苅 悠介 (3年)	我那覇 怜 (2年)	狩俣 旭利龍 (3年)
第4位	日本体育大学荏原高等学校 (東京都)		
	大戸 奏 (2年)	植木 詠章 (2年)	前枝 泰地 (3年)
第5位	沖縄県立那覇商業高等学校 (沖縄県)		
	渡慶次 響 (3年)	嘉手苅 隆平 (3年)	
第6位	青森県立弘前工業高等学校 (青森県)		
	石田 康次郎 (3年)	相馬 祥希 (3年)	鳥居 凜太郎 (2年)
第7位	大分工業高等専門学校 (大分県)		
	荒金 秀宜 (1年)	岩本 征也 (3年)	
第8位	大分高等学校 (大分県)		
	巽 洸一 (1年)	姫野 陽翔 (2年)	
ハイケーム	岩本 征也 (大分県・大分工業高等専門学校3年)		300
ハイシリーズ	長尾 脩甫 (福岡県・近畿大学附属福岡高等学校3年)		760

《女子の部》			
優勝	神奈川県立綾瀬西高等学校 (神奈川県)		
	崎山 穂花 (3年)	濱崎 りりあ (3年)	
準優勝	前橋市立前橋高等学校 (群馬県)		
	大野 萌葉 (2年)	渡辺 希哩 (3年)	
第3位	沖縄県立首里東高等学校 (沖縄県)		
	砂川 舞佳 (2年)	宮國 愛奈 (3年)	
第4位	神奈川県立大和東高等学校 (神奈川県)		
	網代 羅夢 (1年)	高田 真帆 (2年)	濱崎 姫琉 (1年)
第5位	北海道札幌東商業高等学校 (北海道)		
	阿部 菜々花 (3年)	佐藤 美葉 (2年)	神田 涼夏 (2年)
第6位	金沢龍谷高等学校 (石川県)		
	吉田 美咲 (3年)	吉田 知花 (1年)	中富 蒼乃 (3年)
第7位	名古屋大谷高等学校 (愛知県)		
	水谷 柚茜 (1年)	山田 悠加 (3年)	
第8位	千葉学園高等学校 (青森県)		
	黒坂 優芽 (2年)	中村 結依 (2年)	工藤 亜耶佳 (2年)
ハイケーム	三留 花音 (神奈川県・神奈川県立横浜南陵高等学校3年)		289
ハイシリーズ	濱崎 りりあ (神奈川県・神奈川県立綾瀬西高等学校3年)		739

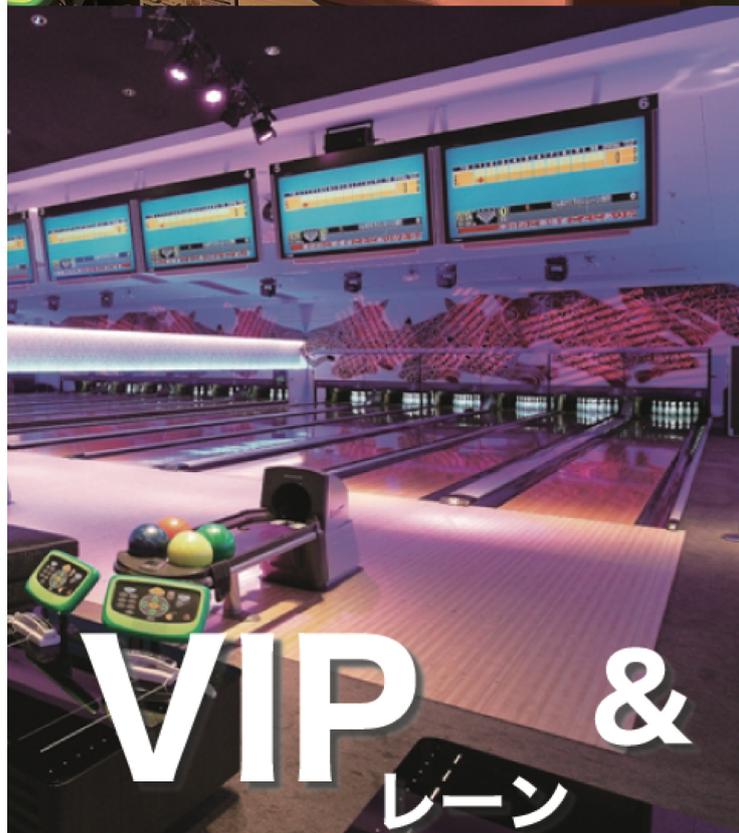
祝 開催

第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

皆さまのご活躍を祈念いたします



1フロア42レーン&特別仕様VIPレーン6レーン完備
府内最大級ボウリングフロア



VIP
レーン



& バンケット
ルーム

京都の総合アミューズメントパーク



MKボウル上賀茂

☎(075) 701-2131

公式HP <http://www.mkciel.net>

パルケ上賀茂

バイキングレストラン上賀茂

上賀茂グランピングパーク